

# 小美玉市市民憲章

私たちは、豊かな自然と歴史、文化に育まれた小美玉市民であることを自覚し、誇りと責任をもって明るく豊かなまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し、豊かな水と緑ときれいな空気を守ります
- 一、平和を願い、夢と希望に満ちたまちをつくります
- 一、互いに助け合い、ルールを守り、快適で住みやすいまちをつくります
- 一、伝統を生かし、文化の薫り高い豊かなまちをつくります
- 一、思いやりと感謝の心を育み、明るい家庭を築きます

## 市章



円で小美玉市の英頭文字の「O」と美玉の「M」「T」を兼ね図案化されました。

躍動する3曲線で3町村の合併を表し、豊富な緑、霞ヶ浦の自然に包まれた土地に輝く人が共に手を取り、交流を深める姿を象徴として、市の無限の向上発展を表現しています。

市の花  
《コスモス》



市内各地に植えられ、たおれても起き上がる姿は力強く清楚で、語源(cosmos=宇宙、世界、調和)から小美玉市の平和の発展を願うにふさわしい花です。

市の木  
《ケヤキ》



大地にしっかりと根を張り、放射状に大きく枝を張る姿は雄大で、力強く空へ向かって成長していく姿は、将来に向け伸びゆく小美玉市にふさわしい木です。

市の鳥  
《シラサギ》



市内の水辺周辺に生息し、市民に親しまれ気品があり、優雅に羽を広げ大空にはばたく姿は美しく、清らかに飛躍する小美玉市にふさわしい鳥です。

## ごあいさつ



平成18年3月27日の合併以来7年が経過し、平成20年3月に策定された市総合計画の前期5ヵ年では、茨城空港の開港をはじめ、常磐自動車道石岡小美玉スマートインターチェンジの開設など、市の一体化を図りつつ、新市の発展に向けた新たな資本の整備が着々と進められてきました。

一方、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、本市も多くの被害を受け、市民の皆様の暮らしにも少なからずご不便が生じることとなりましたが、これを乗り越えていく上で「市民力」、「企業力」、「職員力」、さらにはそれらを連携する協働の大切さを改めて実感いたしました。

平成25年度からはじまる後期基本計画では、重点的かつ積極的に取り組んでいく施策として、市内のコミュニティの深化、市内外における交流の活性化、市民生活における幅広い視点に立った安全・安心の充実の3つの重点施策を設定しました。

本市には、霞ヶ浦をはじめとする豊かな自然や歴史・文化などの恵まれた地域資源と、まちづくりの源となる人的資源があります。こうした貴重な資源を最大限生かしながら、市民参画と協働により後期基本計画を推進し、市の将来像である「人が輝く水と緑の交流都市」を築いてまいりたいと思います。

最後に、本計画の策定にあたりご協力いただいた、多くの市民の皆様をはじめ、策定にご尽力いただいた総合計画審議会委員に対しまして、心よりお礼申し上げますとともに、本計画の達成のために、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

小美玉市長 島田 穰一